



古着屋

REGULAR 501 JEANS
MEN'S T-SHIRT & PANTS
3F
SHIRT SHOP

「池上きしよ
きしよ。ええきしよさ
加減や。」

spinns

京都市中京区新京極通
薬師下ル 東側町531-2
DIAMOND BLD 3F
TEL:075-213-2013

売り場面積は古着屋の常識を覆した広さ。現在よく売られているのはキウエアジャケットの配色のスカート。古着8割、残る2割はケットの2割の中にある。ルナなどの商品にボリエステルやフェイタルは化粧素材を使ったり、フーディーは使ったり、パーカーはイメージはサイバー。特撮のカットソーはマジックテープによる脱着で、着たすオスメとのこと。



のイズ プロフィール

松竹芸能が放つ新進気鋭の漫才コンビ。超シュールで、それでいてどこまでも庶民的という独特なラインのネタで武装し、お笑い界に挑む。

とことん混沌カオスTV (KBS日曜日深夜)に出演中



錦天満宮の水。飲んでもた。

池上雅彦

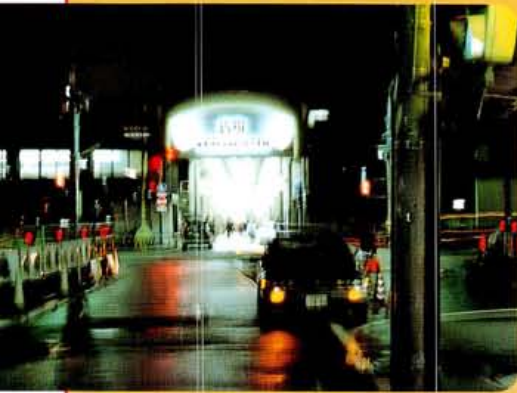
- 生年月日 昭和39年3月9日
 - 趣味 読書、映画、動物園、水族館
 - 特技 スポーツ
 - セールスポイント 古都のジョン・ローン
- 京都の出身ということで、このコーナーの狂言まわしをつとめる。つつこみ担当

久田俊裕

- 生年月日 昭和44年12月24日
 - 趣味 バンク文化、バンクDJ
 - ひたすら一人部屋で
 - 特技 三白腹、自炊、フメが健康的
 - セールスポイント 男の泣き
- ポケながらこのコーナーのストーリーテラーの片翼を担う



やっぱ万引きしたらピーッとか鳴んの?この商札。(笑)



のイズのこのコーナーも今回で4回目を迎えました。今月はのイズのフラワーブのうまい方、私、久田が書く。フラワーブのクツというのにはまず自分の腰をローリングさせ。まあいい。みんなもがんばってフラワーブうまくなつて下さい。さて今回は寺町の古着めぐりという事だ。何故寺町通りに古着屋が多いか。教えてあげよう。その昔、寺町通は目抜き通りだった

のイズのこのコーナーも屋が多かったのだ。戦後、ヤミ市なんかガズラツとならんぼろの古着が並んでいたろんな。わかった? でもそんなことはどうでもいいのだ。僕は古着の柔らかい感じが可愛くて好きだ。マルチーズぐらいい好きだ。マルチーズのうまい飼いは。まあいい。

まずは今の目抜き通り新京極の「spinns」だ。ココはかなり巨大な古着屋で良い品も多い。普段からよく行く。今回は「なんかちようだいツアー」だ。なんか貰おう。コート2着。フム、ありがとう。貰うモン貰ったら後は相方とスタツフを無視して服の物色だ。時間が忘れて見ていたら池上が見えたらない。ドコ行った? いた。ピアスケー

スをとって眺めとおる。お前ピアスケール開ける気かい? やめてくれ。と、本誌を通して伝えておくわ。服見るときは仕事はどおでもええねん。ダツフルコートとカーディガンを我慢できずに買って来た。次は寺町に戻って「GIAN」という古着屋。ココはアメリカもののおもちゃとかも置いていて、店員さんと池上が楽しそうに喋っている。でも池上の笑顔はウソの笑顔なので店員さん



ホンマに寺町と新京極の間の殆どの路地には寺があると。昔は門前町やったんやな、と。



「マリオとルイージやて。喋る？ なんやグロいぞ」



「おめかし願でどこ行くねん？池上」

キライちゃうねん
なあこういう人形

見てもええけどな



でっかいジュズ。
寺町やねえ



僕の為に生まれてきたんやナ。オマエは



ちゃんと原稿の事も考えてんねん、のフリ。いまだけ。

GIAN! Used Clothing Store

京都市中京区寺町通蛸薬師門福寺前町274-10

TEL:075-211-8520

店名はオーナー清水さんの中学時代のあだ名から。弟さんがロスに在住で、商品は主にそこから。特にヴィンテージの501 XXのW30L34というおいしいサイズが98,000円というのは「かなり安いハズ」と太鼓判つき。トップではやはり10年ほど前の物でもNIKEもの強いらしい。他にはアメコミの SPAWNシリーズや、STAR WARSのレアなフィギアが店中に吊ってあるので興味のある人はそちらもどうぞ。取材日に「新年1月10日あたりからセール予定」ということだったので、今行けば50%オフの商品が手にはいるかも知れない。

Quality Inn.

京都市中京区寺町通六角下ル船木ビル2F
TEL:075-212-1079

アメリカンカジュアルが中心。買い付けは主にアメリカは東海岸から。古着が70~80%で、こちらオリジナルブランド「ARGOSY BROTHERS」を度々中。アランセーターやジーンズ、珍しいところではヒッコリーストラップの6ポケットなんていうキュートな商品もある。ウィンタージャケットやニットなど、サイドアイテムもそれとなく片隅のガラスケースに並べられているのでよく見て眺もう。ゆっくり隅々まで捜し物をするのが古着屋さんの醍醐味。



ゲリラでお邪魔の左り馬。油と紙プレゼントありがとう。

方7センチくらい膨らむのですぐわかる。ちょっとコワイ。ここでは赤いジヤージとチノパンもろた。ウムありがとう。
店を出て寺町通を歩いているとボスター屋さんがあった。池上は浅香唯のボスターをじっと眺めていた。本誌を通して伝えておくれ。オレも好きや。浅香唯。
次は「Quality Inn.」という古着屋。ココではキレイに立て落ちたリーバイスの505のジーンズを買った。全く僕のために誰かにはかっていたとしか思えへんぐらい僕にピッタリや。コレはお気に入りの一品になりそうだ。なんか買おうてばかりや。なんかゆう企画や。僕を貧乏にする気が。わかった、もっと買おう。いや貰うもの貰わな。セーターと長下貰った。えらい池上がセーターにいつとるようや。良かったの。

古着屋ではないけど、なんや寺町の生き字引みたいなオッチャンがおりとるので「なかがわ」という土産物屋に行った。寺町の歴史は実はこの人に聞いたのだ。その昔は競輪の選手で国体に出たこともあるらしい。スゴイ人や。「坂本龍馬も寺町をよう歩いとったんや」と自慢げに言うてはった。今百五十歳ぐらいなんかな、このオッチャン。
後は、ピストル好きなので「やまもと」で「デザートイグル44マグナム」という空気銃をうたせて貰った。でも僕の家にある本物の方が迫力あるな、實際。

しかしこの寺町通という道、新京極に抜ける路地ちゅう路地に寺があるらしい。そんで寺町。そのなかに、錦天満宮というのがある。ココの鳥居は両サイドのビルに突き刺さっている。なかなかおもしろいけど、寺ちゃうんけ。そういえば地べたに置いてある公衆電話があったけど、あれは誰が使ってもヤンキーみたいになるやろな。だつてウンコすわりして喋らないといけ

